

IV 指導の実際

国語科学習指導案

平成 19 年 12 月 20 日（木）5 校時
沖縄市立安慶田小学校 1 年 3 組
男子 14 名 女子 18 名 計 32 名
授業者：比嘉 久美子 印

1. 単元名 ことばって、おもしろいな

教材名 ものの 名まえ
おみせやさんごっこを しよう

2. 単元の目標

- ◎ものの名前との関係（上位語・下位語）に興味をもつ。
- ◎お店のちらしを書いたり，客や店の人の役に分かれてやり取りしたりして，「おみせやさんごっこ」を楽しみながら，上位語・下位語についての理解を深める。

<この教材で身につけたい力>

- ◎「ものの 名まえ」を読み，内容の大体が分かる。（読イ）
- ◎売る品物のよさが伝わるように，宣伝のちらしの文章を考えて書く。（書ア）
- ◎宣伝のちらしに必要な事柄を集める。（書イ）
- ◎客と店の人になって売り買いのやり取りをする。（話・聞ウ）

3. 単元について

(1) 教材観

ここでの学習は「ものの 名まえ」と「おみせやさんごっこを しよう」，2つの教材を組み合わせで行う。「ものの 名まえ」は，上位語・下位語を1年生の児童が分かるように，具体的な例を示して説明している。説明の中心は，「1つ1つの名前（下位概念）」と「全体の総称（上位概念）」を理解させるものである。前半に生活の例を挙げ，後半で上位概念，下位概念をまとめていて，児童にも分かりやすい。挿絵と文章を照応させながら読むことで，言葉について正しく理解できるようになっている。

「おみせやさんごっこを しよう」では，「ものの 名まえ」で理解したことを生かし，平仮名や片仮名を適切に使って看板（上位語）や品物カード（下位語）を書いたり，簡単な組み立てを考えて効果的なちらしを作ったりすることを通して，児童の主体的な学習活動が期待されるとともに，上位語・下位語の理解が深まるであろう。

(2) 児童観

《単元に関するアンケート》

1 国語は好きですか。

とても好き	好き	あまり好きではない	好きではない
50%	43%	7%	0%

* その理由を教えてください。

漢字の学習がおもしろい 読むことが好き さし絵をみていると楽しくなる など	書くことが上手じゃないから間違えるから
---------------------------------------	---------------------

2 好きな勉強に○をつけましょう。(複数可)

音読	日記(絵作文)	文字学習	読書
68%	79%	75%	100%

3 買い物に行きますか。

よく行く	たまに行く	行ったことがない
54%	43%	3%

4 行ったことのあるお店の名前を教えてください。

大型スーパー:サンエー(68%) ジャスコ(36%)
 食料品店 :かねひで(68%) コープ(18%) ユニオン・丸大(46%)
 コンビニ(21%), 衣料品店:マルエー(3%), 大城商店(3%)

5 知っている名前を書きましょう。

くだもの	さかな	やさい
りんご いちご バナナ メロン みかん もも なし さくらんぼ マンゴー など	さば たい さんま まぐろ うなぎ うに たこ さかな さかなフライ など 0の子もいる。 2~4つ書ける子が多い	にんじん レタス きゃべつ トマト ピーマン はくさい だいこん セロリ など 3つ書ける子が1番多い。 10 書ける子も1人いた。
4・5つ書ける子が半数		

《パソコン学習の取り組み》

回	月日	内容	ソフト	備考
1	6/20	コンピュータ室の決まり, 起動・終了・クリック	ジャストスマイル	3年生と交流学习
2	6/28	お絵かきソフトの使い方	ジャストスマイル	PC 支援
3	7/19	ドラッグの仕方(線を引く) スタンプ	ジャストスマイル	PC 支援
4	9/12	ドラッグの仕方(名前を書こう)	ジャストスマイル	担任
5	11/ 7	お絵かき, 学習ゲーム	ジャストスマイル	担任
6	12/18	ドラッグの仕方(イラストを移動させよう)	ジャストスマイル	担任

単元に関するアンケートを行ったところ、93%が「国語がとても好き、好き」と答えている。一方「あまり好きではない」と答えた児童は7%おり、その理由として「書くことが上手じゃない」「間違えるから」と答えている。また、「どんな勉強が好きか」という質問に対して「読書」「日記(絵作文)」「文字学習(漢字・平仮名など)」と答えた児童が多いことから、文字への関心が高く、自分のしたことや気持ちを表現することについて意欲的であることがうかがわれる。

「買い物に行きますか」という質問で97%が「よく行く、たまに行く」と答えているが、ほとんどの児童がサンエー、ジャスコ、かねひでなどのスーパーを利用しており、果物屋さん、魚屋さん、八百屋さんといった専門店へ行ったり見たりする機会はほとんどない。

「知っている名前を書きましょう」という質問では、果物、野菜の名前は書けているが、魚の名前を知らない子が多く、「さかな」「さかなフライ」という答えもあるなど、児童によって語彙力に偏りがみられた。また、「キャベツ」を「チャベツ」「カベツ」と書く児童、平仮名と片仮名を混ぜて書く児童もみられることから、適切な表記については、生活科等他の教科においても指導していくことが必要である。

(3) 指導観

本単元は2つの教材から構成されているが、ここでは「ものの名まえ」について考える。

「上位概念」「下位概念」という考え方は1年生には難しいが、「まとめてつけた名前」と「一つ一つの名前」とすると、1年生にもわかりやすいものとなるであろう。よって、本教材では上位概念を「お店屋さん」、下位概念を「売られているもの」とすることにより、児童にとって取り組みやすいものとなっている。そこで、スーパーに行き慣れている児童に「お店屋さん＝〇〇コーナー」と考えさせることでイメージを膨らませたい。また、コーナーがない場合は探し物がしにくいということを実感させることによって、種類ごとにまとめること（上位概念）の必要性も感じさせたい。

くだものの名前を多く挙げることで、つまり、「くだもの」の下位語である「りんご・バナナ」などの同位語を数多く挙げることは、1年生にとって容易であると同時に楽しいものである。その際、同位語をただ列挙するだけの活動にならないよう、上位語でまとめることを意識させつつ進めていきたい。本時では、そうしたことを「くだもの」以外のいろいろなものについて考えさせること、そして大好きなパソコンを活用することによって、意欲的に学習できるようにしていきたい。

4. 指導計画 全11時間（読む3 書く5 話す・聞く3）

「ものの名まえ」：3時間（読む3）

次	時	目標・学習活動	評価方法
1 次	1	■ものの名前について知ろう I ①自分の知っているお店について発表する。 ②教科書 P46～P47L2 を読み、何屋さんか考える。	【関】 教材文をよみ、何屋さんか考えようとしている。 [観察・発言]
	2	■ものの名前について知ろう II ①おじさんの言葉について考える。（一つ一つの名前の必要性） ②上位語・下位語について知る。（まとめた名まえの必要性）	【読】 教材文を読んで、上位語と下位語の違いについて、正しく理解している。 [発言・ノート]
	3 【本時】	■身の回りの上位語・下位語について考えよう。 ①3つのお店で売られているものの名前を考える。 ②それぞれについて上位語・下位語を押さえる。	【関】 身の回りの上位語・下位語について考えることができる。 [ワークシート]

「おみせやさんごっこをしよう」：8時間（書く5，話す・聞く3）

2 次	4	■お店での買い物の様子を知ろう ①「おみせやさんごっこを」をすることを知る。 ②CDを聞き「おみせやさんごっこ」に必要なものを考える。	【関】 進んで話し合いに参加し、お店で売る物を考えたり、ちらしを書いたりして、「おみせやさんごっこ」の準備に取り組んでいる。 [観察・発言・ノート]
	5	■何のお店にするか話し合おう ①グループで自分たちがやってみたいお店について話し合う。 ②売る品物や値段などについて話し合う。	
	6	■「おみせやさんごっこ」の準備をしよう I ①新出の漢字や片仮名の学習をする。 ②言葉の使い方について理解する。	
	7	■「おみせやさんごっこ」の準備をしよう II ①お店で売る品物の名前と絵をカードにかく。 ②値段やお金、お店の看板などを作る。	

	8	■お店の工夫を考えよう ①教科書 P51 や実際のちらしを見て、ちらしの工夫を知る。 ②グループでどんなちらしを作るか話し合う。	【書】 ちらしに必要なことを集め、お客さんが来てくれるように工夫して文を書いている。 [作 品]
	9	■「おみせやさんごっこ」の準備をしようⅢ ①ちらしに必要な内容や構成について考える。 ②丁寧にちらしを作る。	
3 次	10	■「おみせやさんごっこ」の練習をしよう ①客や店の人の話し方に気をつけながら、再度 CD を聞く。 ②上手な話し方や聞き方について意見を出し合う。 ③グループの中で客と店の人に分かれ、売り買いの練習をする。	【話・聞】 丁寧な言葉を使って売るときの言葉や買うときの言葉を練習し、客と店の人になってやり取りしている。 [観察・発言]
	11	■「おみせやさんごっこ」をしよう ①「おみせやさんごっこ」をする。 ②活動を振り返る。	

5. 本時の展開

(1) 本時のねらい

身の回りの上位語・下位語について考えることができる。

(2) 授業仮説

お店で売っているものの名前を考える場において、パソコンを操作（ドラッグ）させることにより、意欲的に取り組み、お店ごとに正しくわかることができるであろう。

(3) 準備する物

前時までの復習（はっぴょう名人）、ワークシート

(4) 本時の展開（3 / 11）

	学習活動	教師の支援活動◎指導上の留意点○個への支援	情報機器の活用	評価
導 入	①前時までを振り返る。 ②めあてを確認する。 おみせで うられている もの の 名まえを かんがえましょう。 (全体)	◎児童を教室中央に集める。 ◎「はっぴょう名人」を使う。	◆パソコン (T) ◆プロジェクター ジャストスマイル (はっぴょう名人)	
展 開	③ 3つのお店で売られているものを考える。(全体) ○何屋があるか確かめる。 ・がっきや、花や ・ぶんぼうぐや ○問題を読み、操作の仕方を確認する。 ・自分の席に着き、操作を始める。(各自)	◎文房具屋：書くときに使うもの（文房具）・・・学習で使うものが売られている。 ◎ドラッグで移動させること。 ◎3つのお店にあてはまらないものもあることを確認させる。 ・スカイメニューでワークシートを配布。 ○操作でつまずいている子には、スカイメニュー、または個別に支援する。	◆パソコン (T) ◆プロジェクター ジャストスマイル (ワープロ) ◆パソコン (S) ◆スカイメニュー	

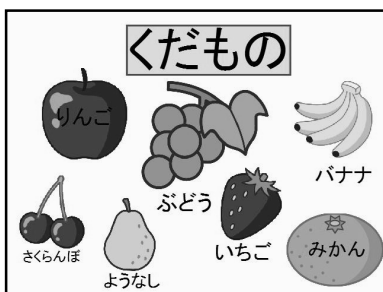
	<p>・発表して確認する。(全体)</p> <p>④自分の席に着き、ワークシートに移動させたものの名前を書く。(各自)</p> <p>・発表して確認する。</p>	<p>○早く終わった子には、リトルティーチャーをお願いする。</p> <p>◎児童を教室中央に集める。</p> <p>◎消しゴムが使えないので、あわてず、丁寧に書くよう指示する。</p> <p>◎正しい書き方は、教師画面を児童のパソコンに送信して確認させる。</p>	<p>◆パソコン (T)</p> <p>◆プロジェクター</p> <p>◆パソコン (S)</p> <p>◆スカイメニュー</p>	<p>・売られているものをお店ごとにわけることができたか。[スカイメニュー]</p> <p>・お店ごとに分けたものの名まえを書くことができたか。[ワークシート]</p>
まとめ	<p>⑤本時のまとめをする。(全体)</p>	<p>◎それぞれについて、上位語・下位語を押さえる。</p>	<p>◆パソコン (T)</p> <p>◆プロジェクター</p>	

(5) 評価

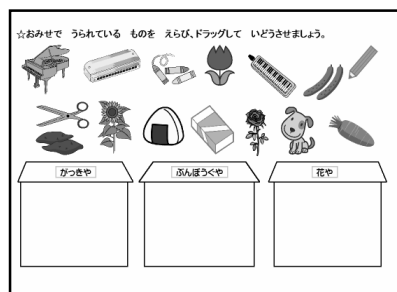
- ①売られているものをお店ごとに分けることができた。(スカイメニュー)
- ②お店ごとに分けたものの名まえを書くことができた。(ワークシート)

6. 授業の反省

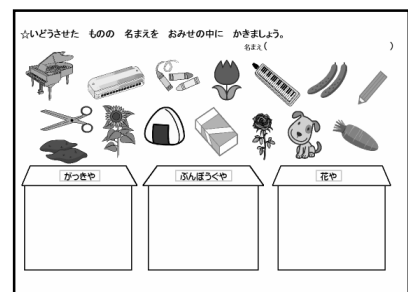
- 国語の学習でパソコンを使うという意外性により、児童の学習意欲を高めることができた。
- スカイメニューの教材配布機能により、ジャストスマイルのワープロで作った教材を児童一人ひとりが取り組むことができた。
- 絵をドラッグして枠の中に入れるという操作をすることにより、上位語・下位語が一目で分かるため、理解を深めることができた。
- 「起動・終了・ドラッグ」は今年度学習した技能であり、それをパソコンの学習でなく、国語の学習活動として活かせることができ、よかった。
- ドラッグをしている時に、絵がずっと下のページまで飛んでしまうことがあった。ジャストスマイルのワープロで教材を作成したのだが、ページが飛ばないように工夫や指示(マウスの使い方、画面下方まで絵を持ってこないなど)が必要。



☆復習で使用
(はっぴょう名人)



☆スカイメニューで
配布した教材 (ワープロ)



☆書き込み用ワークシート
(ワープロ)

*いずれも「ジャストスマイル」で作成